

ひょうご農地・水ニュース

今年度も農業の基本となる農地や水路、さらには美しい景観、豊かな生きもの、綺麗な水を守り育む地域ぐるみの活動が県下各地の農村集落で熱心に行われました。

ひょうご農地・水ニュースでは、この一年の各地域の話題やイベントをご紹介します。

平成25年12月7日には、6回目となる「ひょうご水土里のふるさとフォーラム」が兵庫県公館で開催され、県内外から農地・水保全管理活動関係者や都市住民など538名の参加がありました。



農地・水保全管理支払交付金制度 ホームページ開設のお知らせ

URL : <http://hyogo-nouchimizu.com>

このたび、兵庫県各地域農地・水・環境保全推進協議会では、「農地・水保全管理支払交付金制度」のホームページを開設します。
(平成26年2月末公開予定)

イベント情報や農地水ニュース等、沢山の情報を入手でき、事務に係る各様式のダウンロードも行っていただけます。

●● CONTENTS ●●

- P.2~3 第6回ひょうご水土里のふるさとフォーラム 報告
- P.4 個人面談会の実施(神戸市)／西谷自然ふれあいあそび(宝塚市)
- P.5 農地・水・環境保全推進協議会 活動発表会(北播磨・東播磨地域)
- P.6 ため池教室(市川町)／大根千本 収穫祭(宍粟市)
- P.7 冬期湛水の取り組み(朝来管内)／ふるさと農業まつりに出展(篠山市)／井手池かいぼり(洲本市)
- P.8~9 日本型直接支払(多面的機能支払制度)の紹介
- P.10 (話題提供) 田んぼとため池で洪水を防ごう! 雨水貯留大作戦
- P.11 (話題提供) 農業基盤整備促進事業~自己負担が軽い、簡易な整備をしてみませんか~
- P.12 (話題提供) これからの農業を集落ぐるみで考えてみませんか?

第6回ひょうご水土里のふるさとフォーラム

とき：平成25年12月7日（土） ところ：兵庫県公館

◇テーマ◇

明日へつながろう！！ひょうごの水土里 ～元気な農業農村FOREVER～

本県では、農業者の減少が進行する中、平成19年度から農地・水保全管理支払交付金を活用した地域共同による農地、農業用水等の資源と農村環境の保全に取り組んできました。

農地、水路、ため池などにより形成される農村環境は、地域農業が適切に営まれてきたことにより、維持・保全されてきたものです。

現在、地域農業は過疎化・高齢化など農業者の減少に加え、TPPなど新たな問題を前に衰退の恐れにあります。将来にわたり、良好な農村環境を守っていくためには、地域農業の元気が欠かせません。

本年度フォーラムは、地域農業を元気づけ、ひょうごの水土里をつないでいくために、県民一人ひとりがひょうごの「農」に対して果たすべき役割を考えることを目的に開催しました。



◆オープニング◆

オープニングイベントでは、NPO法人メダカのコタロー劇団と近田幼稚園園児による熱のこもった演技が行われました。

また、演技後には中野アナから園児へのインタビューが行われ、『今日の出来はどうでしたか？』『今朝は何を食べましたか？』の問いかけに対し、『100点です！』『ごはんです！』との元気な返答がありました。

◆セレモニー◆

冒頭に、井戸知事による主催者挨拶が行われました。



次に、農地・水路等の地域資源や農村環境の保全で特に素晴らしい活動を行った集落の努力を讃える「みどり豊かなふるさと大賞」の知事賞（1地区）と委員長賞（4地区）の表彰が行われました。



左から、くだわ 久田和環境保全会（朝来市） 畠山代表、こうち 河内農地水環境対策活動組織（淡路市） 正木会長、うずらのなかちよう 鵜野中町環境保全隊
やすが（加西市）尾花代表、いなはた 安賀農地水環境保全組合（宍粟市） 清水代表、い 稲畑地区農地・水・環境保全向上活動の会（丹波市） 梅垣代表

◆基調講演◆

「日本農業の再生～儲かる農業への挑戦～」

千葉県農事組合法人「和郷園」の木内博一代表理事にこれまでの取り組みや、苦労したこと、農業の6次産業化や組織体制のノウハウ、成果などを紹介いただくとともに、農業が直面する厳しい状況の中で、元気な儲かる農業を実現し、日本農業の再生に向けた提言を講演していただきました。

また、受付において和郷園の主力商品であるフルティカトマトの試食も行われました。



木内氏の基調講演



農業組合法人「和郷園」
代表理事 木内 博一



久田環境保全会
代表 畠山 義紀

◆トークショー◆

「みんなで守ろう ひょうごの農業と農村環境」

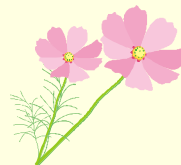
コーディネーターである兵庫県立大学大学院美濃伸之教授から兵庫の「農」は日本の縮図と言われており、北から南まで多彩な「農」が展開されている、農村と消費者（都市部）の交流の多様さでも図抜けている、農地・水の取り組みは全国1位の実績を誇っている等、兵庫の特徴についてご紹介いただきました。

また、本年度「みどり豊かなふるさと大賞」の知事賞を受賞した久田環境保全会の畠山義紀代表から、コウノトリ育む農法や冬期湛水など多様な生き物を育む環境づくり、集落営農組織の農事組合法人への移行、水田での野菜生産の拡大（田畑輪換）が可能な地下かんがいシステムの整備、岩津ネギの増収・高品質化を目指す取り組み等を発表していただきました。

そのほか、「ひょうごの農業と農村環境をみんなで守る」ことについて、ラジオ関西の谷五郎さんがナビゲーターとなって、ひょうごの「農」の将来のあるべき姿や地域農業の活性化と農村環境を守るために都市住民が取り組むべきこと、さらに各パネリストの将来の夢、農業への期待など、それぞれの立場から真剣な議論が展開されました。



兵庫県立大学大学院教授
美濃 伸之



消費者代表
岩本 真理子



NPO法人
メダカのコタロー劇団
団長 原 愛紗実



トークショーの様子



ラジオ関西 谷五郎さんと中野涼子アナウンサー

平成25年度 県下各地の話題とイベントを紹介

神戸地域

恒例の個別面談会を行いました！

神戸地域協議会では、活動組織との個別面談会が毎年恒例となっています。地域ごとにJA各支店の会議室を借り、約一ヶ月半をかけて全活動組織と面談をします。

各活動組織1時間程度、途中までの書類チェックを行ったり、活動の進捗状況、今後の予定などをお聞きしています。その他、意見交換や、困っていることなどの相談も受けています。

主にこういう工事をしたいが農地水でできるのか、この書類はどのように作ればよいか、などの相談が多く見受けられます。

活動組織のみなさんと個別に顔を合わせてお話することで、さまざまな情報を交換することができ大変有意義な面談になっています。すっかり毎年恒例行事となっており、「今年の中間面談はいつですか？」とのお問い合わせもいただくほどです。

ほんの1時間程度ですが、貴重な情報交換の場になっています。



阪神北地域

西谷自然ふれあひあそび（宝塚市）

平成25年8月4日（日）

中部環境保全活動の会、切畑環境保全の会、玉瀬環境保全会、西部環境保全の会、長谷環境保全向上会の5団体活動組織及び西谷自治会連合会などが集まり、西谷の自然にふれあひあそびを計画し、実施しました。当日は子ども40人、大人60人が参加し、西谷地域以外にも南部地域の子もたちも多数（約40人）の参加もみられ、交流が深まりました。

第1部では、中部上池での生物生息状況調査（魚釣りによる外来種の駆除）を行い、小ぶりながらもブラッバス、ブルーギルが90匹強釣れ、外来種の生息状況がはかれました。

また、同時にため池周辺のゴミ拾い、堤体の草刈り、清掃も行われました。

第2部では、場所を西谷ふれあひ夢プラザに移してメダカのコタロー劇団の公演を観賞し、その後、子ども達と劇団員が屋外で水鉄砲、竹とんぼ、シャボン玉などのふれあひ遊びを行いました。また、とれたての西谷産野菜を使ったナン焼き、ピザ焼きなども参加者で食しました。

炎天下ではありましたが、子ども達と劇団員との生き活きとした姿が印象的でした。



北播磨
東播磨
地域

農地・水・環境保全推進協議会 活動発表会

平成26年2月9日（日）

東播磨・北播磨地域の農地・水・環境保全推進協議会は、昨年に引き続き両協議会合同による活動発表会が、前日の雪が残る中、活動組織から約200名の参加で開催されました。

本年度は、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が放映されていることもあり、播磨地域にゆかりのある官兵衛について、講談師の旭堂南青氏に「黒田官兵衛と三木合戦」と題しオープニングに華を添えていただき大盛況となりました。

活動発表会は、各市町から推薦された組織の活動内容を審査の上、優良な取り組みを進めてこられた活動組織に対し、会長賞・優秀賞を授与し、各協議会の最も優秀な組織から活動内容の報告を頂きました。その後、農林水産省渡邊泰浩課長補佐から来年度から始まる「日本型直接支払制度」に関する説明をしていただき、農地・水に代わる新たな制度ということでもあり、参加者は熱心に聴衆し、質問も多くされていました。



県立三木山森林公園 音楽ホール



オープニングイベント



宮前ため池協議会 副代表



網引資源保全会 代表



農林水産省渡邊課長補佐

< 各賞の受賞団体 >

- | | |
|--------|-----------------|
| 東播磨会長賞 | 宮前ため池協議会（加古川市） |
| 北播磨会長賞 | 網引資源保全会（加西市） |
| 東播磨優秀賞 | 下野谷地域資源保全隊（稲美町） |
| 北播磨優秀賞 | 殿畑地区協議会（三木市） |
| 北播磨優秀賞 | 鹿野町環境保全隊（西脇市） |



受賞者記念撮影

中播磨
地域

ため池教室（市川町 明星池）

平成25年10月10日（木）

ため池教室を開きました！！

改修工事が終わったばかりの市川町坂戸の明星池で平成25年10月10日の晴天の中、甘地小学校3、4年生50名を対象にため池教室を実施しました。教室では

- ・ため池の役割、ため池の生物についての生物専門家の講義
- ・水を落としたため池に入って魚取り等の生物調査
- ・ため池の注意事項を周知（水難事故防止）

を実施し、子供たちはぬかるむ足元も気にせず歓声をあげて大物を追いかけていました。事前準備には地元による草刈や水管理、市川町役場による泥落としのための給水車の手配等のお陰で予定通りスムーズに教室が行われました。



近所の工場の方々も見学に来られました



すべて泥にまみれました・・・



たらいを持って大人も奮闘

西播磨
地域

大根千本 収穫祭（宍粟市波賀町安賀地域）

平成25年11月30日（土）

交流活動の一つである大根拔きは、「大根千本 収穫祭」として行われ、都市部（垂水などの私立幼稚園の親子）の方々と地元住民、合わせて200人を超える人数で収穫しました。

収穫した大根は各家庭に持ち帰ることは勿論、幼稚園や保育園の給食に使用されます。また当日の昼食は、地元の女性部による地元産農作物を使ったおにぎり・豚汁が振舞われました。

さらに、集落で採れた米や野菜・自然薯などを都市部の方々に買っていただくことで、地域の元気につながっています。



↑ 体験田で大根の収穫祭を開催♪

↓ 豚肉以外は全て地元産！！



但馬
地域

冬期湛水の取り組み（朝来管内）

朝来管内では、稲刈りの終わった水田に冬場も水を張る農法（冬期湛水）に取り組んでいます。冬期湛水に取り組むことにより、鳥（コウノトリやガン、カモ類）の餌場にもなり、水田の環境面での付加価値を生み出す効果があります。

取組み前と比べて、ドジョウ、カエル、イトミミズなど多くの生物が生息するようになりました。

また、農家にとっても、雑草が抑制できる、施肥量を減じられる等のメリットもあります。

現在、養父市では伊佐の地域等で17ha、朝来市では久田和、上八代、三保、和田の地域等で50ha程度取り組んでいます。



【久田和地区】



【上八代地区】

丹波
地域

「第12回ふるさと農業まつり」に出展（篠山市）

平成25年11月23日（土・祝）

農地・水保全管理支払交付金が果たしている役割について多くの方に知っていただくために、活動の趣旨や優良な活動事例についてパネル・パンフレット等により紹介しました。

また、農地、農業用施設（農業用水路、ため池等）の維持管理の大切さ、整備の必要性等について、パネル・模型の展示等により紹介を行いました。



淡路
地域

井手池かいぼり（洲本市）

平成26年1月19日（日）

洲本市の勢山農地水環境保全隊（五色町鳥飼上）では、井手池においてため池管理者（農業者）と漁業者が協働してかいぼり作業を行いました。

また、当日は「域学連携地域活力創出モデル実証事業」の取り組みとして龍谷大学の学生の方々にも参加していただきました。参加者は小雪がちらつく中、泥んこになりながらも熱心に活動を行いました。



作業終了後、地元食材を使ったおにぎりとお汁をいただきました



参加者全員で記念撮影



かいぼり作業

新たに「日本型直接支払（多面的機能支払制度）」が始まります！

平成26年4月からスタート！！

これまでの「農地・水保全管理支払」を見直し、新たに多面的機能の維持・発揮を図ります。

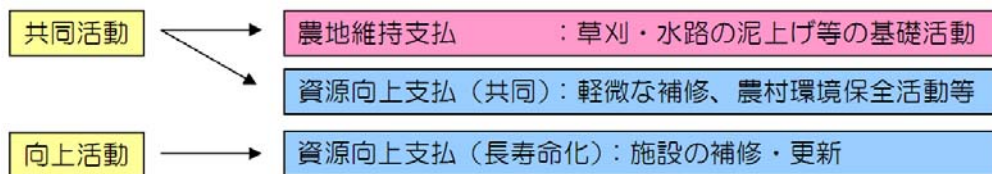
（農業・農村の「多面的機能」とは、洪水や土砂崩れの防止、多様な生き物の保全、美しい農村景観などの都市住民を含めて国民全体に及ぶ役割を言います。）

ポイント！

交付金が見直されます!!



現行の共同活動は、農地維持支払と資源向上支払（共同活動）の2つに分割され、向上活動は、資源向上支払（長寿命化）へ名称変更します。



現行の組織がそのまま移行できます!!

現在、農地・水保全管理支払に取り組む活動組織は、そのまま新制度に移行できます。

また、水利組合や土地改良区、自治協議会などの既存の広域的なつながりをいかして活動組織を統合し、事務手続きを軽減することも可能です。

- 平成24年度に行ったアンケートでは、9割の活動組織が、「水路の保全に役立っている」と回答するなど、農業用施設の機能維持につながる制度であることを評価しています。
- 本県では、全国1位の約1700地域で、農産物の加工・販売や都市住民との交流、小学生の環境学習、特産品の開発、農村文化の伝承など特徴的な活動が行われ、地域の活性化に貢献しています。

農村の営み（農業）が有する多面的機能



日本学術学会
が答申した「農
業の多面的機
能」の貨幣評価
(H13.11)

多面的機能支払制度の概要

地域共同で行う多面的機能を支える活動や地域資源（農地、水路、農道、ため池等）の質的向上を図る活動を支援します。

多面的機能支払制度

農地維持支払

対象活動

- ◆ 農地のり面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動
- ◆ 農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保管理構想の作成等



農地法面の草刈



水路の泥上げ



ため池の草刈



農道の砂利補充

資源向上支払

対象活動

- ◆ 地域資源の質的向上を図る共同活動（水路、農道、ため池の軽微な補修、農村環境保全活動の幅広い展開等）
- ◆ 施設の長寿命化のための活動



水路のひび割れ補修



生物調査による啓発



田んぼダムの実施



農道の舗装

★ 水田における交付単価（単位 円／10a）

農地・水の 取組年数	農地・水の 活動内容	現行の共同活動に相当		現行の向上活動に相当	合計
		①農地維持支払	②資源向上支払 (共同)※1	③資源向上支払 (長寿命化)※2※3	
5年以内	共同活動のみ	3,000	2,400	未実施	5,400
	共同＋向上活動	3,000	1,800	4,400	9,200
5年以上	共同活動のみ	3,000	1,800	未実施	4,800
	共同＋向上活動	3,000	1,800	4,400	9,200

〔現行の農地・水保管理支払の5年以上継続地区等は、②に75%単価を適用〕

※1：②の資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが必要

※2：水路や農道などの施設の老朽化部分の補修や施設の更新

※3：①、②と併せて③の施設の長寿命化のための活動に取り組む地域は、③が加算され、②に75%単価を適用

話題提供

田んぼとため池で洪水を防ごう！雨水貯留大作戦

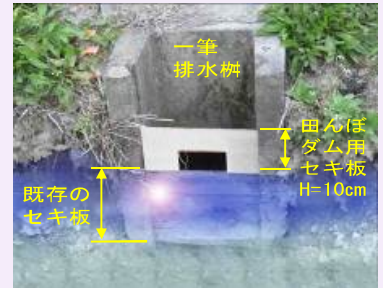
～農業・農村の多面的機能の増進について～

水田貯留「田んぼダム」の取組み

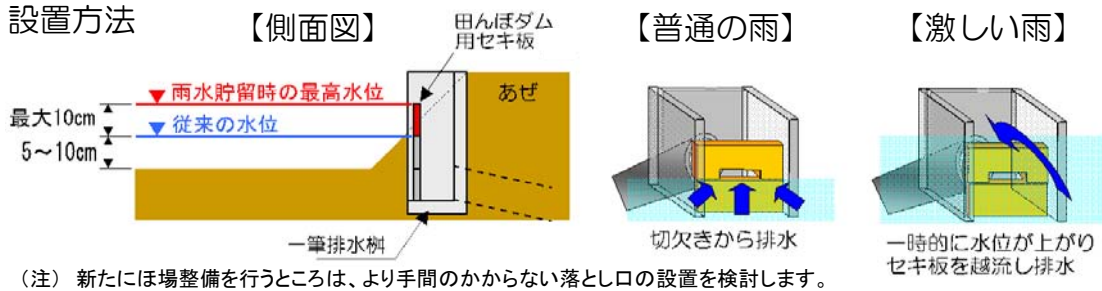
田んぼの落とし口（一筆排水柵）に切欠きのあるセキ板を追加し、排水を少し絞ることにより、一次的に雨水を貯留する取組です。

1 田んぼダム用セキ板

切欠きのあるセキ板を既存のセキ板上に設置します。



2 設置方法



（注）新たにほ場整備を行うところは、より手間のかからない落とし口の設置を検討します。

ため池貯留の取組み

大雨の前にかんがい用取水口を開放し、あらかじめ決めておいた放流水位に達するまで貯留水を放流することや、洪水吐の越流堰を一部切り下げるなどした施設を整備することにより、雨水の貯留容量を確保します。

地域の取組を応援する支援制度

平成26年度予算の成立前のため、変更する可能性があります。

交流促進モデル事業

雨水貯留を契機とした下流(都市部)との交流活動を支援

事業内容	ため池や水田を活用した雨水貯留に取り組み、地域内の合意形成や下流の都市部の団体等（自治会、小学校、企業等）との交流を促進するなど、農村の取組意義につながるモデル的な活動を支援
上限助成額	1地区当たり15万円（定額）×9地区
対象経費	農村の取組を下流（都市部）に紹介するなどの交流活動、啓発活動等の実施に要する経費（田んぼダム用セキ板は別途配布）
その他	（交流例）都市部の小学生等との活動モデル 小学生の環境学習として、小学生がペイントしたセキ板を設置し、雨水貯留の学習会に加えて農業体験等の交流から農産物を給食で使用する等へ発展

セキ板1000枚配布大作戦

水田の雨水貯留に取り組む集落にセキ板を無料配布

事業内容	総合治水の取組に関心を持つ集落に対して、セキ板を無料配布するとともに 管理方法の講習を実施し、効果の高い取組を着実に拡大
要件	①ほ場整備済田での雨水貯留の取組にかかるセキ板の設置や維持管理について、集落内の合意形成が図られている、②稲刈後のアンケート調査への協力
配布内容	①田んぼダム用セキ板、②のぼり旗

- ◆ 申し込みは、各県民局土地改良事務所・センター、阪神農林振興事務所を予定しています。
- ◆ 問合せは、兵庫県庁農地整備課（電話：078-362-3431）までお願いします。

話題提供

農業基盤整備促進事業

～ 自己負担が軽い、簡易な整備をしてみませんか ～

兵庫県では意欲ある農業者が継続して農業に取り組めるよう、簡易な整備で、自己負担が軽い補助事業をご用意しています。

1 事業の内容

整備済み農地の畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水などの簡易な整備（定額補助）

＜補助金の上限額＞ ●区画拡大（畦畔除去）：10aあたり10万円まで

（排水路の管理等を伴う）：10aあたり20万円まで

●暗渠排水：10aあたり15万円まで

●湧水処理：100mあたり 15万円まで

【参考】暗渠排水の標準事業費（施工規模10ha程度の場合）（現場条件等により変動します）

工事内容 【性能】	効 能	10aあたりの 標準事業費	10aあたりの 地元負担
①本暗渠のみ 【スタンダード】	作物の生育環境を良好にし、農業機械の作業性が向上する	約17万円	約2万円 (=17万円-15万円)
②本暗渠＋補助暗渠 【ハイグレード】	補助暗渠により、本暗渠の効果を一層促進させ、より短期間で農作業が可能になる	約19万円	約4万円 (=19万円-15万円)
③地下かんがい※ 【プレミアム】	排水機能に加え、地下水位の調整が可能で、水田の汎用化や水管理の省力化が図られる	約31万円	施工規模により負担額が変わりますので別途ご相談ください

※暗渠排水管を活用し、かんがいと排水を両方行うもので、地下水位を自由に設定することが可能

【効果の実例】3日間連続降雨後のほ場の様子

①本暗渠のみ



水はけが悪く、作業は難しい・・・

②本暗渠＋補助暗渠



余剰な水分が排出され、作業可能に

※効果は土質により異なることがあります。

2 採択の要件

- (1) 受益農地（利益を受ける農地）が農振農用地であること。
- (2) 受益者（利益を受ける者）が2人以上であること。
- (3) 事業費が200万円以上であること。

★ 事業内容は以上ですが、ご不明な点や興味がある方はお気軽に各市町、土地改良センター等の農業農村整備事業担当窓口までお問い合わせください。

★ 平成27年度に事業実施を希望される場合は、平成26年7月頃までにご相談ください。

話題提供

これからの農業を集落ぐるみで考えてみませんか？

農業の現状

- ◇担い手が不足しています
（農家の高齢化が進み、身近に農作業を頼める人が少なくなっています）
- ◇経営規模が零細です
（全国に比べ兼業農家が多く、経営規模が小さい傾向にあります）
- ◇耕作放棄地が増えています
（農業生産の場であり、生活の場である農村の活力が低下しています）



皆さんの集落の現状や課題を語り合い
将来の地域農業をみんなで考えてみましょう！

ステップ1

データをもとに5年後、10年後の農業・集落を考えよう

集落内のアンケートを行い、各農家の持っている農業機械・施設や担い手がいるかいないかなどの現状を把握しよう。

ステップ2

みんなの思いや考えをまとめましょう

アンケート結果を公表し、これからの集落の農地、農作業、農業機械・施設や担い手をどうするか考えてみましょう。

ステップ3

集落の人・農地プラン（将来図）を描こう

生産コストの低減、農地の有効利用、担い手の確保をどうやって実現していくか、農地・水路・農道の維持管理はどうするかなどみんなの意見をまとめ、集落の合意のもとに人・農地プラン（将来図）にしましょう。

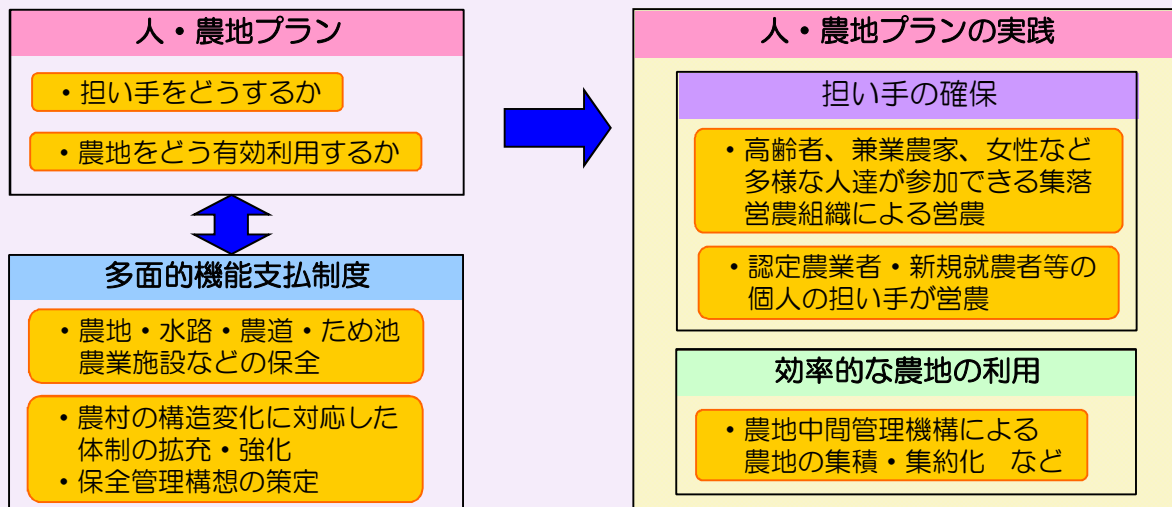
ステップ4

集落の人・農地プラン（将来図）を実践しよう

人・農地プランの実現に向けて、具体的な実践に移しましょう。

例えば「地域の担い手として営農組合の設立を目指し、組織のタイプ、事業計画、規約の作成に向けて、みんなで進めています。」

地域農業と農地等の地域資源を守る活動をみんなで考えてみましょう！



『集落の営農』と『地域ぐるみで農地や水路などを守る活動』が一体となることで、農村地域社会と地域農業が継続できます